

第 214 回

クラシックファンのためのコンサート

2020年11月19日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

古瀬 まきを ソプラノリサイタル

〈プログラム〉

J. S. バッハ

私の心はどれほど喜んでいることか
 カンタータBWV199『私の心は血の海を漂い』より

湯山 昭

歌曲集『カレンダー』（詩：薩摩忠）全12曲
 四月 牧場／五月 サクランボ／六月 梅雨／
 七月 夏のレセプション／八月 ミンミンゼミ／
 九月 黒い蝶／十月 秋なので／十一月 空の瞳／
 十二月 カイツブリ／一月 雪／二月 春はもう／
 三月 花の行列

R.シュトラウス

あすの朝
 セレナーデ
 美しい、けれど冷たい天の星たちよ
 偉大なる王女様 オペラ『ナクソスのアリアドネ』より

ピアノ 関口 康祐



新型コロナウイルスの影響による特殊状況下のコンサートも3回目となりました。今回は古瀬まきを氏を迎えて、美しく華麗なソプラノリサイタルを開催しました。多数のオペラやコンサートに出演しておられる方で、3年前のモノオペラ『人間の声』での感動を覚えておられる方も多いと思います。

プログラムはバッハのカンタータ「私の心はどれほど喜んでいることか」で始まりました。この曲想に、厳しい状況下でも歌が歌える喜びを重ねて表現され、聴衆も聴く喜びをしみじみと囁みしめました。続いて、湯山昭氏の日本歌曲では月毎にカレンダーを共にめくる様な楽しみがあり、後半はR.シュトラウスの魅力的な調べが続きました。いずれも関口康祐氏のピアノと息の合った素晴らしい演奏で、少ない聴衆からは大喝采が起きました。



〈ご来場者のアンケートより〉

- ・透明感のある素晴らしい歌声に心が震えました。ピアノも情景の浮かぶようで素晴らしく、とても良いひと時を過ごせました。
- ・つややかな美しい声に心洗われました。生で歌える喜び、とおっしゃいましたが、私達が生で聴ける喜びを感じる事が出来ました。
- ・やっぱり生演奏すばらしいです。ピアノとソプラノのコラボ、日本語の美しさ、オペラの楽しさを堪能させて頂きました。
- ・楽曲の間の説明でより素晴らしいコンサートでした。元気をいただきました。

NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp